

(別添 10)

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和5(2023)年度

施設名	栃木県那須野が原公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	那須野が原公園指定管理グループ ・公益財団法人栃木県民公園福祉協会(法人番号9060005007605) ・栃木県造園建設業協同組合(法人番号8060005000511)
指定期間	平成31(2019)年4月1日～令和6(2024)年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	那須塩原市千本松801-3
施設の概要	①指定管理者による管理面積 56.9ha(ファミリープールを除く) ②主要な施設 テニスコート、フィールドアスレチック、そり遊び広場、オートキャンプ場、サンサントワー、わんぱく広場、はらっぱ、緑の相談所、貸自転車、バッテリーカー、ファミリープール
業務内容	①公園の維持管理に関する業務 ②有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和5(2023)年度

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※2	指定管理料	83,600	指 定 管 理 ※2	事業費	9,361
	利用料金収入	44,825		管理運営費	74,567
	その他収入※1	250		人件費	33,093
	合計	128,676		その他支出※1	7,868
指定管理業務収支差額①			自主事業		
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②			自主事業		
収支差額(①+②)			収支差額(①+②)		
備考(※1 その他収入の主なものを記載) 負担金 227千円			備考(※1 その他支出の主なものを記載) 租税公課 7,868千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和4(2022)年度(前年度)

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※2	指定管理料	83,600	指 定 管 理 ※2	事業費	11,069
	利用料金収入	45,498		管理運営費	80,879
	その他収入※1	8,417		人件費	31,255
	合計	137,515		その他支出※1	7,229
指定管理業務収支差額①			自主事業		
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②			自主事業		
収支差額(①+②)			収支差額(①+②)		
備考(※1 その他収入の主なものを記載) ・雑収入 7,862千円			備考(※1 その他支出の主なものを記載) ・租税公課費 7,229千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

	令和4(2022)年度 (前年度)	令和5(2023)年度
公園利用者	299,397人	284,013人

施設名(利用料金施設)	令和4(2022)年度 (前年度)	令和5(2023)年度
フィールドアスレチック	18,489人	16,621人
そり遊び広場	10,963人	8,145人
テニスコート	12,396人	11,214人
オートキャンプ場	14,575人	14,572人
サンサントワー	8,509人	7,843人
合計	64,932人	58,395人

施設名		令和4(2022)年度 (前年度)	令和5(2023)年度
緑の相談所	相談件数	180件	66件
	催し物回数 (延べ人数)	45回 (22,800人)	49回 (17,692人)
	講習会回数 (延べ人数)	15回 (170人)	19回 (231人)

4 サービス向上に向けた取組

- ・遊具施設や電気・水道設備などの定期的な安全点検を実施し、安全な施設の提供に努めた。中でもわんぱく広場やアスレチック施設は、直営の日常点検や定期点検に加え、専門業者による遊具の安全点検を実施し点検結果を踏まえた修繕を施すなど、来園者が安心して利用できる安全な施設の提供に努めた。
- ・花の丘の整備や展望塔付近のクリスマスローズの植栽管理、郷土の広場花壇、大池花壇、風車花壇を季節の花々で修景するなど、「花の見どころ」づくりを進めた。
- ・展望塔において、とちぎ結婚応援カード「とちマリ」に協賛し、ペアで入場の方に限り1名分を無料として支援に努めた。
- ・音楽フェス「The Groove 23」に協賛し、公園をアピールするとともに、メイン会場の北側にある風車周辺に「ウェルカム花壇」を修景し、「花でおもてなし」に努めた(音楽フェスは主催者の都合により中止)。
- ・近隣施設とのコラボ企画として、プール入場者に千本松牧場の商品(アイス)をプレゼントし連携を図った。
- ・オートキャンプ場及び管理センターで、自然素材を活かしたクラフトコーナーを設置して、小さなお子様から大人まで気軽に楽しめるように取り組んだ。
- ・ホームページやSNS等を活用し、花の開花状況やイベント内容など旬な情報を提供した。また来園者に分かりやすいよう、園内の位置図と開花場所をリンクさせた「開花情報板」を緑の相談所入口に設置した。
- ・那須地域で盛んな駅伝やマラソンなど、公園を会場にした大会開催により地域の特性に対応した公園管理運営に努めた。
- ・安全、安心な公園利用を図るため、施設及び駐車場の利用時間を日没に合わせてきめ細やかに適正な利用時間範囲で運営した。また、施設の利用料金、利用日は利用者のニーズに合わせて設定するなど、サービス向上を図った。
- ・園内全域に及ぶ枯損木や危険木の調査を実施し、倒木や枯れ枝落下による利用者等の危険防止のため枯損木及び危険木の伐採を優先して行った。
- ・緑の相談所講座の参加者やキャンプ場の利用者からアンケートを取り、事象によっては迅速な対応を行い、管理運営に反映した。
また、巡視員の直接聞き取りにより苦情や要望を把握し、適切かつ早期に対応した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収 回収件数 90件 				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	62.9%	31.5%	2.2%	3.4%
公園の管理状況はいかがでしたか	55.7%	40.9%	1.1%	2.3%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	55.8%	38.4%	4.7%	1.2%
スタッフの対応はいかがでしたか	72.8%	23.5%	2.5%	1.2%
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで意見を受付 ・イベントや緑の相談所の講座の参加者へアンケート調査を実施 ・那須野が原公園連絡協議会を開催し、意見・要望を聞き取り 				
主な利用者意見（苦情・要望）		対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・良く管理されている方だが、数カ所に案内図が欲しい。子供が迷子になった場合どこに居るか分からない。例えば立て看板に「ここは〇〇～〇番です」のようなものがあれば良いと思います。 ・（キャンプ場）クアルーム女湯の脱衣所にベビーベッドがあるととても助かる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・公園内全体案内板は7基設置しています。点在する施設（アスレチック、そり、わんぱく、風車、大池、展望等）で居場所判断は可能と思いますが、ご意見を参考にさせていただきます。 ・ご意見は今後の管理運営の参考にさせていただきます。 		
主な利用者意見（積極的評価）				
<ul style="list-style-type: none"> ・ここより楽しい公園はめったにありません。他県に行っても、断然この公園の方が楽しいです。 ・たくさんの遊具で遊べて良かった。 ・30年弱毎年キャンプ、コテージに来ているのですが、夏になればココというくらい家族の集合場所として認識しています。世代を超えて来られるとても良い施設だと思います。 				

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度における公園利用者数は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行したこともあり、コロナ禍時より増えたものの、20,000人/2日の利用者を見込んでいた「The Groove 23」が主催者都合により中止になったこと等も影響し、300,000人の目標に対し284,013人と目標を下回る結果となった。 ・新型コロナ感染症予防対策においては、「5類感染症」に移行したことを受け、基本的なコロナ感染防止対策は維持しながら、引き続き利用者及び職員の感染防止に努め、来園者が安心して利用できる施設の提供に努めた。 ・公園内園路老朽化に伴うアスファルト舗装の傷みの激しい場所については、補修を行い段差解消による安全確保に努めた。経年劣化により駐車場の区画線が剥離した場所について、ライン引きを行い利用者の視認を確保し、安全確保に努めた。トイレやアスレチック及びわんぱく広場遊具の修繕、キャンプ場の木製テーブルの修繕など、安心・安全に利用できるよう施設の修繕を実施した。また、作業機械等は長寿命化の観点から、できる限り修繕を実施し、延命化を図った。今年度の修繕費は5,579,362円で5年の指定期間総額は31,621,548円となり、予定修繕額（23,167,000円）を8,454,548円上回った。 ・自主事業においては、那須地域の小学校に通学している小学生を対象にファミリープールの利用料金を割引し、近隣地域へのサービス向上及び利用促進を図った。また、プールのイベントとして令和4

<p>年度において大変好評だった「フラダンスショー」を2回実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働で実施する「那須野が原ウォーク」においては、那須塩原市、土地改良区連合、田園空間博物館、千本松牧場、東京電力と協働で実施し好評をいただいた。 参加者には那須野が原の開拓の歴史に触れる機会と牧歌的な風情や紅葉を楽しんでもらえた。 ・広報においては、ツイッターやインスタグラムなどのSNSを活用し、こまめに旬な情報を発信するなど、効果的な情報提供が利用者増に繋がった。 ・植栽管理においては、松くい虫による枯松や正面駐車場周辺の樹木を伐採し、公園の景観を保持しながら安全で安心して利用できる公園づくりに取り組んだ。 ・バックホーやユニック車を活用し、植栽の植替えや落葉のストックヤードの整理など重機による効率の良い園内整備作業を実施した。 ・作業機械を取り扱う全従業員に、作業機械等の安全研修を受講させ、安全管理を徹底した。
<p>※指定管理者が独自に設定</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・花の丘、郷土の広場、大池、風車、キャンプ場の花壇にボランティアと協働で季節の花を植栽し、「花の見どころづくり」に取り組み、来園者を楽しませた。また、音楽フェス「The Groove 23」に協賛し、公園をアピールするとともに、メイン会場の北側にある風車周辺に「ウェルカム花壇」を修景し、「花でおもてなし」を行った（音楽フェスは主催者の都合により中止）。
<p>今後改善・工夫したい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も人件費や燃料費など、物価の高騰により公園管理費の増大が懸念されることから、多目的な業務に対応できるマルチスタッフの育成や節電、3R（リサイクル、リユース、リデュース）による手法で経費削減に努める。 ・利用者から好評の「花の見どころづくり」を、引き続き花の丘、郷土の広場、大池、風車、キャンプ場の花壇で展開し、開花状況などをSNS等で発信し、集客を図りたい。 ・開園して以来30年以上を経過した公園の樹木は、巨木化し景観を損ねているほか、枝同士が重なり落下する危険度が高まっている。枯損木や危険木の調査を行い、計画的な伐採を実施する。 ・展望塔の利用促進を図るべく、利用しやすい料金の設定や、小学生絵画展や写真コンクール作品展を開催するなど、地域住民と連携しながら新たな情報発信基地としての役割を担う施設づくりをすすめる。 ・良好に展開している周辺施設（千本松牧場・ピラミッド元氣温泉・KA-MA-DOキャンプグラウンド）と連携した利用促進、地域活性を更に推し進める。

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の 平等利用の 確保	① 住民の平等利用が確保されたか。	適切に実施されている。	B
	② 使用許可に関する権限が適正に行使されたか。	所定の手続きに則り、適切な許可が行われている。	B
	③ 高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	高齢者や身障者に対し配慮するなど事業計画書どおりされている。	B
2. 施設の 効用の最大 限発揮	① 施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか。	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った業務が実施されている。	B
	② 施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか。	施設の利用料金、利用日、利用時間は利用者ニーズに合わせて設定しサービス向上に努めたほか、近隣市町の小学校にプール割引券を配布したりキャンプ場利用者にプールの割引を行い、利用促進を図った。	B
	③ 利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか。	利用者の満足度は昨年並みだった。	B
	④ 利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか。	要望・苦情に対して、適切且つ迅速に取組み対応している。	B

	⑤ 施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか。	日常・定期点検を実施し、その記録が保管されているとともに、管理打合せ簿にて修繕の提案・修繕実施報告され、その修繕履歴が適切に保管されている。また、備品の管理は適切に実施されている。	B
	⑥ 指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか。	公園の魅力を高めるため、ボランティアと協働で季節の花を植栽して「花」の見どころづくりを取り組み来園者に好評だった。また、大規模イベントに合わせて開催場所前の花壇に花の植栽を行った。	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	① 組織体制は適正か。	当該業務を概ね適切に遂行できる組織となっている。	B
	② 収支は適正でバランスがとれたものか。	概ね適正である。	B
	③ 経費の縮減に取り組まれてきたか。	事業計画書どおり多目的、多用途に従事するスタッフを配置し人件費を削減するとともに、保険契約等は一括契約を行い経費削減に取り組んでいる。	B
	④ 人材育成は適切に実施されているか。	公園管理に必要な資格の取得や技術と能力を向上するため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	B
	⑤ 危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか。	緊急時連絡体制により、関係部署との連絡体制は確保できている。また、異常気象時の対応も適切に対応・報告がなされていた。	B
	⑥ 県や関係機関との連携体制は確保されているか。	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	B
4. 個人情報保護	① 個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか。	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護している。	B
	② 情報公開は適切になされているか。	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用している。	B
5. その他	① 施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか。	適切な自己評価が行われた。	B
	② 自主事業が計画どおりに実施されているか。	自主事業について、適切に実施された。また、プールイベントのフラダンスショーの回数を計画より増やしたほか、オートキャンプ場のミニコンサートも実施した。	B
	③ イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか。	千本松牧場とのコラボ企画を実施した。那須塩原市、土地改良区連合、田園空間博物館、千本松牧場、東京電力と連携し那須野が原ウォークを実施し、多くの地域住民が参加した。	B
	④ 環境への配慮（騒音・光害対策、ごみ削減等）がなされているか。	公園利用者にはごみの持ち帰りをお願いし、ごみ削減等に努めている。	B
	⑤ その他管理運営上の特記事項	新型コロナウイルス感染症対策を図り安全な管理運営を実現した。	B

総合的な評価

- ・令和5年度の利用者数は前年度から約15千人減の284千人となった。
- ・安全・安心に重点的に取り組み、倒木、落枝防止を含めた維持管理を実施することで、利用者の安全確保に努めている。
- ・周辺施設と連携したイベントを開催しており、地域活性に貢献している。
- ・引き続き安全管理に気を配りながら、イベント等により魅力アップを図ることで、公園利用者数の増かにつなげてほしい。

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。